



こんな社会貢献の方法も！ 明治ホールディングス「寄贈選択制度」

「企業の社会貢献」というと、企業が NPO やボランティア団体に助成金を支給したり、商品や現金の寄付をしたり、従業員が地域活動に参加したり、といったことが思い浮かびがちですが、製菓会社などを傘下に持つ「明治ホールディングス」では、2009 年度より株主のみなさんに呼びかけて、株主優待品と同等の品物を福祉団体等に寄贈する「寄贈選択制度」を運用。株主による社会貢献として注目されています。



寄贈の様子（和歌山市内にて）

株主の想いを届ける制度
明治ホールディングス（明治HD）では、09 年度より株主優待制度を設け、所有株数に応じて株主に對して明治グループの製品詰め合わせを贈呈しています。この際に明治HD では株主優待品の「寄贈選択制度」を導入しました。

この制度は、株主の意向により、株主優待品の送付に代えて、同等品を全国の福祉団体等に送付するもの。09 年度は趣旨に賛同した株主約1400名から約460万円の寄贈の意向が寄せられました。11年度・12年度は東日本大震災被災地や避難生活を余儀なくされている子どもなどを支援している団体にも対象を広げるなど、柔軟な対応がとられています。

寄贈開始から4年目となった昨年度の寄贈は3000名近い株主から約830万円分に

増加。株主のみなさんの厚意が年々増えていくのがうかがえます。

各地のNPO センターも一役
寄贈先は震災被災地等を除くと、障がいを持った子どもたちを支援しているNPOやボランティアグループ、社会福祉法人などが中心となっています。しかし、全国47都道府県すべてへ支援を届けるのは一企業としては困難です。

そこで、明治HDでは、認定NPO法人日本NPOセンター（東京）の協力を得て、全国のNPO支援組織等を通じて寄贈をおこなっています。これにより、地域の実情に応じた支援が届けられる仕組みとなっているのです。

寄贈された団体から
今年度、和歌山県内では、和歌山市の社会福祉法人と有田市のNPOの2団体に寄贈が実施されました。

和歌山県NPOサポートセンターでは、今年度NPOの事務力向上をテーマとした講座を多数展開してきましたが、今年度の集大成として、「NPO法人事務力検定」を来年1月26日に開催することになりました。

この検定は、NPO法人岡山NPOセンターが昨年度、岡山県内向けに実施したところ大きな反響を呼び、今年度中国地方をはじめ複数の県でおこなうこととなったもの。

NPO法人の活動分野や内容、収入規模は千差万別ですが、根本の制度自身はどのNPO法人にとっても共通しています。そこで、どのNPO法人であっても共通する事務について集中的に学び、そ

の習熟度合いを測るのがこの検定。

出題範囲はNPOの基礎、所轄庁や法務局での手続き、NPO法や定款に基づいた会議運営、会計・労務など多岐にわたります。

NPOサポートセンターではこれを機会に各々のNPO法人が法人運営事務について考えるきっかけにしてほしいとしています。

検定は1月26日10時から和歌山ビッグ愛9階会議室Cで、受験料1000円。

なお1月19日10時から16時まで、NPO法人事務局セミナーを同所で開催。参加無料。ともに事前申込み必要。和歌山県NPOサポートセンターまで（電話073-433515424）。

今回寄贈されたのは明治HD傘下の製菓会社のお菓子やジュースなど5種類、それぞれ約30名分。12月初旬に商品が届けられました。が、ちょうどクリスマスを控え、施設の行事などで役立てたい、という声が聞かれました。NPOのスタッフは「このような株主のみなさんによる寄贈はありがたい。今後も続けていきたいです」と話していました。

（志場久起）

「寄贈されたのは、明治HD傘下の製菓会社のお菓子やジュースなど5種類、それぞれ約30名分。12月初旬に商品が届けられました。が、ちょうどクリスマスを控え、施設の行事などで役立てたい、という声が聞かれました。NPOのスタッフは「このような株主のみなさんによる寄贈はありがたい。今後も続けていきたいです」と話していました。」

「寄贈されたのは、明治HD傘下の製菓会社のお菓子やジュースなど5種類、それぞれ約30名分。12月初旬に商品が届けられました。が、ちょうどクリスマスを控え、施設の行事などで役立てたい、という声が聞かれました。NPOのスタッフは「このような株主のみなさんによる寄贈はありがたい。今後も続けていきたいです」と話していました。」

みんなでつくる情報板
わかやまイベントボード

- 和歌山城天守閣で初日の出
7時過ぎにのぼる初日の出を和歌山城の天守閣からご覧になりませんか。
日時 1月1日(水) 6:00～
場所 和歌山城天守閣
入場料 1月1日6時～9時までは無料
問い合わせ 和歌山城整備企画課 (073-435-1044)
- 無農薬米で七草粥・小豆粥
ピートープ孟子で栽培した無農薬米で調理した七草粥と小豆粥をふるまいます。
日程 1月5日(日) 14:00～15:00
場所 海南市わんぱく公園・料理工房
参加費 100円(七草粥と小豆粥1杯ずつ)
問い合わせ 海南市わんぱく公園 (073-484-5810)
備考 定員はありませんが、なくなり次第終了となります。
- 最新の医療カンファランス
肺がんの薬物治療の進歩等を取り上げます。
日時 1月9日(木) 14:00～16:00
場所 和歌山県立医科大学生涯研修センター-研修室(図書館棟3階)
講師 山本信之さん(内科学第三教室)、井口幹崇さん(内科学第三教室)
参加費 無料
定員 100名
対象 興味のある方ならどなたでも
問い合わせ・申込み 和歌山県立医科大学生涯研修センター (073-441-0789)
- 発達障害の理解からいじめをなくすために
コンサートと講演、グループディスカッションの2部構成。
日時 1月13日(月) 13:30～16:30
場所 和歌山大学松下会館2階ホール(和歌山市西高松)
内容 第1部 コンサート(演奏:廣澤大介さん(バイオリニスト)、赤川京子さん(ピアノ))
講演「発達障害についての理解を深める」(講師:武田鉄郎さん(和歌山大学教育学部教授))
第2部 高校生活から社会に巣立つために&グループディスカッション(ゲスト:稲光宏子さん(作家))
参加費 無料
問い合わせ・申込み 和歌山大学松下会館 (073-427-4623)

Ji-MO Vol.12 TIMES

2014年、更なる飛躍の年に！

4月、5月、6月 わかやま地元力 AWARD2013 実施
地元・和歌山をより良くしようと取り組む団体をたくさんの方に知っていただくため、わかやま地元力 AWARD を実施し、選考委員による選考を経て、申請のあった11団体のうち5団体を採択しました。

7月 わかやま地元力 AWARD2013 表彰式開催
採択された5団体の皆様と応援パートナーの方々をお招きして、和歌山県民文化会館にて表彰式を行いました。

わかやま地元力 AWARD2013 表彰式の様子

10月 公益財団法人へ登記完了
10月10日に登記をいしました。
・10月19日「第5回わかやま城下町パル」
・10月26日「第4回チャリテ・ド・ママン」
寄付先として地元力財団を選んで頂きました。
城下町パルは、売上確定後、寄付額が決定する予定です。
チャリテ・ド・ママンは36,624円のご寄付を頂きました。

11月 事業指定助成プログラム第1期募集スタート
市民公益活動団体から助成を希望する事業を公募し、採択された団体と当財団が一層に寄付募集を行います。

12月 事業指定助成プログラム第1期助成先団体決定
選考会を開催し、NPO法人子どもNPO和歌山県センター、NPO法人かつむりの会、NPO法人いきいき和歌山がサポートの計3団体が助成先団体として決定しました。12月16日には寄付カタログ(ver.1.0)も完成し、寄付募集もスタート！(第1期寄付募集期間はH26.9.30)

公益財団法人わかやま地元力応援基金 事務局長 出原敬介

今年1年の感謝を込めて
地元力財団の「Ji-MO」をお伝えする「Ji-MO TIMES」も開始からは約半年が経ちました。読者の方や寄付者の方をはじめ、様々なかたちで応援してくださったみなさま、誠にありがとうございました。

年の終わりにあたり、皆様からの多くの支えにより私たち地元力財団の活動がすすむことにつぎまして改めて厚く御礼申し上げます。

当財団初の助成事業である「わかやま地元力 AWARD 2013」は、財団の設立協力者の皆様からの寄付金に加え、制度と制度の狭間にある取り組みを支援するという AWARD の趣旨に賛同いただいた応援パートナーの皆様からの寄付金を原資として、県内5つの団体に助成致しました。10月10日には設立当初からの目標である公益財団法人への移行を果たし、当財団と活動団体が一緒に寄付募集に取り組み「事業指定助成プログラム」の第1期採択事業を決定致しました。

来年度も引き続き地元・和歌山の「ほっとけない」活動を支えるための様々な事業を展開して参りますので、ご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、来るべき年が読者のみなさまにとりまして、良きものとなりますよう、お祈り申し上げます。

年末・年始休業のご案内

12月	1月
28日	29日
30日	31日
1日	2日
3日	4日
5日	

年末・年始 休業期間